

裏磐梯五色沼湖沼自然探勝路の 湖沼群と水生植物

大 滝 末 男
(淑徳短大)

いまから約100年前の1888(明治21)年7月15日に、標高約1800mの小磐梯山の峰が突然大爆発した。有史時代での第1回目は806(大同元)年2月15日の記録があり、それ以後の第2回目の爆発である。爆発による泥流は、磐梯山北側斜面の裏磐梯一帯に流出した。流出量は約12億 m^3 といわれ、標高1100mのところから800mのところまで、毎秒17~21mの速度で12kmの遠方まで流出した。その結果、5か村の11部落を被い、長瀬川・桧原川・小野川・中津川など4つの川や溪谷を埋没させ、7000haに及ぶ死の荒原と火山堰止湖として、大小300余の湖沼

を出現した。

ここでは、噴火口のすぐ下にある銅沼にはじまる大小30におよぶ、裏磐梯五色沼湖沼群で、約4kmの自然探勝路際にみられる11個の湖沼を中心に、水生植物の種類について、その概要を述べる。(図2および表1参照)

上記の地域は大爆発後、約50年でアカマツ林その他の樹木や草本で、すっかり緑に被われ、水中には漸次各種の動植物がみられるようになった。筆者は1969年および1972年に水草類の調査を試みたが、甚だ不確実で不明のところも少なくない。したがって、ここではその当時の資料を発表すると同時に、10年余をへた現状を改めて確認し、正確を期したい欲望があり、今回の大会参加者のご協力を仰ぎたい主旨で発表するしだいである。

植物相(フローラ)という立場から、噴火後の陸地および湖沼中の遷移については、人為的な影響も加えて、その都度明確な記録を後世に残すことは、本研究会としても重要な任務であると筆者は考えている。そのような意味でも、当地はすこぶる風光明媚な景勝地であるので、昭和25年9月5日、磐梯・朝日国立公園として指定されて今日に至っているが、観光地であるだけに、毘沙門沼・弥六沼・柳沼など漸次人為的な悪影響が出ているので、頗る懸念している一人である。

◎五色沼湖沼群にみられるおもな水生植物

- ・タヌキモ科: タヌキモ・ヒメタヌキモ
- ・ミツガシワ科: ミツガシワ
- ・シソ科: エゾシロネ・ヒメシロネ
- ・セリ科: セリ・ドクゼリ
- ・アリノトウグサ科: フサモ
- ・オトギリソウ科: ミズオトギリ
- ・アワゴケ科: ミズハコベ
- ・アブラナ科: オランダガラシ
- ・アヤメ科: キショウブ
- ・イネ科: ヨシ(アシ)・ホッソガヤ
- ・ヒルムシロ科: オヒルムシロ・フトヒルムシロ・ヒロハノエビモ・ミズヒキモ

図1. 裏磐梯略図



- ① 国民休暇村自然探勝路
- ② 五色沼自然探勝路
- ③ 桧原湖畔自然探勝路
- ④ 三湖台自然探勝路

表1 五色沼湖沼群のおもな水生植物

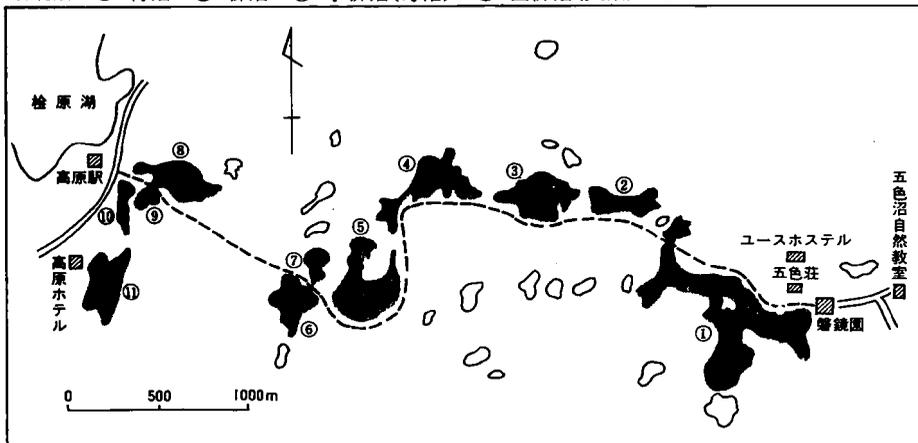
湖沼標式		湖沼名 (標高m)	面積 (ha)		最大深度 (m)	透明度 (m)	水色	pH			
非調和型・ 酸栄養湖	昆沙門沼湖群	び 毘 沼 し 沙 門 (780)	10.0	本湖 7.66 清水湖 2.21 井戸沼 0.13	8.4 12.5 13.0	4.5	青白色	5.0~5.2 (6.0)			
		赤 沼 (795)		0.23	4.0				4.0	赤褐色	3.8~4.0 (4.0)
		み 深 沼 どろ 泥 (790)		1.11	5.8				2.0	緑赤色 または 赤褐色	5.0~5.8 (4.0)
		たつ 沼 竜 (795)	1.02	10.0	3.5	緑赤色 または 緑青色	5.6~6.2 (6.5)				
	弁天沼湖群	弁 天 沼 (810)	3.03	6.7	4.0	青白色	4.5~5.2 (6.0)				
		青 沼 (815)	0.575	5.7	11.0 (理論値)		4.4~4.6 (4.5~6.5)				
		る 沼 璃 (825)	1.81	9.0	21.0 (理論値)		3.8~4.7 (5.0~6.2)				
調和型・ 中栄養湖	柳沼湖群	柳 沼 (830)	2.23	12.2	緑色	6.4~6.5 (7.2)					
		西柳沼(父沼) (830)	0.3	3.5		5.4~6.3 (6.5)					
		小柳沼(母沼) (830)	0.6	2.7		5.4					
		弥 六 沼 (830)	2.06	7.8		5.4~6.5					
非型養 調酸 和栄湖		あ 沼 銅 (1089)	1.0	2.0		赤褐色	2.8~3.2				

- [注] ・ 上記の湖沼は少数の例外を除いて、一つの水系で連なっていると考えられ、水底から流出する鉱泉の有無や化学的性質の差によって、一つ一つの湖沼は水色が異なる。
- ・ 水底の状態は各湖沼ともほとんどが泥質であり、この10年間水深・pHなどの大きな変化はみられない。
 - ・ 表中の①はウカミカマゴケ、②はカワゴケ、③はハリミズゴケ、④はウロコミズゴケ
 - ・ 弁天沼湖沼群の水中ならびに水底には、ウカミカマゴケの群落がマット状に広がり、特異の景観を呈している。
 - ・ 水生植物群落上からは、上記の湖沼の中には、湖岸から湖心への配列は、コケ・ヨシ群落→フサモ群落→ヒルムシロ群落の順がややはっきりみられるところがある。
 - ・ 各湖沼の掲示板のデータは初期に発表された結果に基づいており、pH値の()内は1986.7.12の筆者の測定値である。
 - ・ 弥六沼は磐梯高原ホテルの私有化に伴い、現在アヒルが数匹飼育され、水中の水草類は皆無である。
 - ・ 柳沼など pH 値が中性にちかいところは以前に比べ水中の水草は激減している。
 - ・ 青沼の水辺の一部にアメリカザリガニが繁殖されつつあり、注目される。
 - ・ 銅沼の pH 値は日本第4位の酸性度である。なお、第1位は群馬県草津白根山の湯釜 pH=0.95, 第2位は宮城県鳴子の瀉沼 pH=1.4, 第3位は山形県蔵王山の御釜 pH=2.5である。

(1986. 7. 大滝)

水 質	水 生 植 物	備 考
硫酸イオン 塩素イオン CaSO ₄ の沈殿 (乳白色)	ヒメタヌキモ・ミツガシワ・ミズハコベ フサモ・オヒルムシロ・フトヒルムシロ・ヨシ アオウキクサ・イヌスギナ・㊦	コイ・フナ・ヤマメ ウグイ・アブラハヤ
硫酸イオン・鉄イオン 水酸化鉄の沈殿	フトヒルムシロ・ヨシ ㊦	魚類なし
硫酸イオン・塩素イオン 鉄イオン	ヒメタヌキモ・フサモ・ヨシ・ガマ フトヒルムシロ・ドクゼリ・イヌスギナ・㊦	アマゴイ
同 上 (水底より湧水あり)	フサモ・エゾシロネ・ヨシ・イヌスギナ シャジクモ sp.	ウグイ・アブラハヤ
硫酸イオン・塩素イオン (水底より鉱泉噴出)	タヌキモ・ヒメタヌキモ・フトヒルムシロ・イヌス ギナ・ミズオトギリ・ヨシ・㊦・㊧・㊨	
硫酸イオン・Mnイオン Caイオン	タヌキモ・ヒシ・ミズオトギリ・ヒツジグサ・ヒメ シロネ・エゾシロネ・カキラン・ヨシ・ホッスガヤ・ フトヒルムシロ・㊦・㊧・㊨	アオミドロ sp. アメリカザリガニ
同 上 CaSO ₄ の沈殿 (乳白色)	タヌキモ・ヒメタヌキモ・ミズオトギリ・ヒロハノ エビモ・イヌスギナ・ホッスガヤ・ヨシ・㊦・㊧・㊨	
硫酸イオン 塩素イオン Mnイオン 硝酸イオン リン酸イオン	フサモ・オランダガラシ ミズオトギリ・セリ・ミクリ・オヒルムシロ・エ ゾノヒルムシロ	コイ・フナ・タナゴ ウグイ・アブラハヤ ワカサギ・シロヒレタ シロヒレタビラ・ ナマズ・ニジマス
同 上 (水底から鉱泉噴出)	ガマ・ヨシ・ドクゼリ・キショウブ	
硫酸イオン 鉄イオン		

図 2. 五色沼自然探勝路 (全長約 4 km・P.1②の拡大図) ①: 毘沙門沼 ②: 赤沼 ③: 深泥沼 ④: 竜沼 ⑤: 弁天沼
⑥: 瑠璃沼 ⑦: 青沼 ⑧: 柳沼 ⑨: 小柳沼(母沼) ⑩: 西柳沼(父沼) ⑪: 弥六沼



エゾノヒルムシロ

- ・ウキクサ科:アオウキクサ
- ・ミクリ科:ミクリ
- ・ガマ科:ガマ
- ・ラン科:カキラン
- ・トクサ科:イヌスギナ

以上 16科 24種。

- ・トチカガミ科:クロモ・セキシウモ
- ・オモダカ科:アギナシ
- ・ヒルムシロ科:ヒルムシロ・オヒルムシロ・エビモ・ヒロハノエビモ・エゾノヒルムシロ・リュウノヒゲモ
- ・ミクリ科:ミクリ
- ・ガマ科:ヒメガマ
- ・ミズニラ科:ヒメミズニラ
- ・トクサ科:ミズスギナ(ミズドクサ)

以上 14科 27種。

<参考>猪苗代湖のおもな水生植物

[林義昭(福島大)・内藤俊彦(東北大)ほか福島大特定研「猪苗代湖の自然」研究報告No.3, 1982年3月による]

- ・ミツガシワ科:アサザ
- ・アリノトウグサ科:フサモ
- ・ヒシ科:ヒシ・ヒメビシ
- ・マツモ科:マツモ
- ・スイレン科:コウホネ・ジュンサイ・ヒツジグサ
- ・カヤツリグサ科:カンガレイ・フトイ
- ・イネ科:アシカキ・マコモ・ツルヨシ・ヨシ(アシ)

◎おもな文献

- ・「裏磐梯五色沼湖沼群の水生植物」榎村利道(福島大) 昭42(1967)
- ・「裏磐梯地域の観光開発」東北経済連合会 昭43(1868)
- ・「花譜路」福島県観光施設経営公社 昭43(1968)
- ・「磐梯高原の自然」五色沼自然教室 五色沼自然教室運営協議会 昭52(1977)

都道府県別会員数

北海道	7	青森	2	岩手	1	秋田	3	山形	0
宮城	4	福島	4	栃木	1	群馬	6	埼玉	3
茨城	8	千葉	18	東京	37	神奈川	21	山梨	1
静岡	4	新潟	3	長野	8	富山	3	石川	2
福井	2	愛知	16	岐阜	0	三重	2	滋賀	3
奈良	1	和歌山	3	京都	10	大阪	13	兵庫	13
岡山	9	広島	9	鳥取	0	島根	1	山口	1
徳島	1	香川	7	愛媛	6	高知	0	福岡	4
佐賀	1	長崎	2	熊本	1	大分	1	宮崎	1
鹿児島	1	沖縄	2						
合計	246名								